

薬剤師国家試験出題基準改定における主な論点について

薬剤師国家試験の出題基準については「薬剤師国家試験のあり方に関する基本方針」（令和8年3月25日薬剤師国家試験制度改善検討部会）（以下、「基本方針」）に基づき作成するが、作成に当たり、以下の点についてどのように考えるか。

1. 基本方針に基づき、令和4年に改訂された薬学教育モデル・コア・カリキュラム（以下、新コアカリ）に準じた構造とする。一方、薬剤師国家試験を運用するにあたっては、旧コアカリ履修者への配慮、国家試験としての連続性、「適切な出題範囲」及び「適切な問題水準」を保つ必要があることに鑑み、新コアカリと現行出題基準の両者を参照して、新たな出題基準を作成する方針でどうか。
2. 薬剤師国家試験出題基準改訂部会の留意事項において、「改訂前モデル・コアカリキュラムで学修した受験生への配慮として、現行試験科目と新試験科目との試験範囲の関係性を明確に読み取れる記載とすること。」とされていることを踏まえ、新しい出題基準と現行の出題基準の連動性を示すための別表を作成する方針でどうか。

薬剤師国家試験出題基準改訂部会の留意事項<抜粋>

1. 改訂前モデル・コアカリキュラムで学修した受験生への配慮として、現行試験科目と新試験科目との試験範囲の関係性を明確に読み取れるように、新・旧試験科目の関連性について記載すること。

3. 2に加えて、新出題基準においては、「科目」、「大項目」、「中項目」、「国家試験において評価する項目」、「試験範囲の例示」に、「旧科目」を併記することで、旧コアカリ履修者への配慮とする方針でどうか。
4. WGの作業班は、新科目である「社会と薬学」、「基礎薬学」、「医療薬学」、「衛生薬学」、「臨床薬学」に分けることとし、委員の専門分野を加味した以下のグループで出題基準を作成する方針でどうか。ただし、下記の区分けから外れる項目においては、適宜グループの枠を超えて相談すること。
「社会と薬学」：「法規・制度・倫理」
「基礎薬学」：「物理」「化学」「生物」
「医療薬学」：「薬理」「薬剤」「病態・薬物治療」
「衛生薬学」：「衛生」
「臨床薬学」：「実務」

<参考>

現行の出題基準

【別表 I 物理・化学・生物】

中項目	小項目	小項目の例示
生命活動を担うタンパク質	タンパク質の基本 種々のタンパク質の機能、成熟・分解を理解するための基礎知識を問う	多彩な機能を持つタンパク質（酵素、受容体、シグナル分子、膜輸送体、運搬・輸送タンパク質、貯蔵タンパク質、構造タンパク質、接着タンパク質、防御タンパク質、調節タンパク質）のそれぞれの役割を説明できる。 タンパク質の翻訳後の成熟過程（フォールディング、細胞小器官間の輸送や翻訳後修飾）について説明できる。 タンパク質の細胞内での分解（リソソーム、プロテアソーム、オートファジー）について説明できる。 膜輸送体の種類、構造、機能を説明できる。 血漿リポタンパク質（キロミクロン、VLDL、LDL、HDL）の構造、機能を説明できる。
	酵素 酵素の機能と調節を理解するための基礎知識を問う	酵素反応の特性と反応速度論、代表的な可逆的阻害を説明できる。 酵素反応における補酵素、微量金属の役割を説明できる。 代表的な酵素活性調節機構（アロステリック調節、化学修飾、チモーゲン等）を説明できる。

新コアカリ

中項目	学修目標	学修事項
C-6-4 生命活動を担うタンパク質	1) タンパク質の機能を説明する。 2) 生体内化学反応を担う酵素を説明する。 3) タンパク質の品質管理を説明する。	(1) タンパク質の構造と機能【1】 (2) 酵素反応の特性、補酵素、微量金属【2】 (3) 酵素活性調節機構【2】 (4) タンパク質の細胞内分解【3】

5. 今後のスケジュール案

2026/7-8 第一回 WG

2026/9 第二回 WG

2026/10 第三回 WG

2026/11 第二回部会

2026/12 第三回部会

※「医療薬学」については、上記に加え、別途 WG の設定を予定しています